

英文論文誌における新しい論文カテゴリー 「ポジションペーパー」の受付開始

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員長 岩井誠人

通信ソサイエティ英文論文誌（以下、EB）編集委員会では、投稿対象としての魅力の向上、またその結果として、クオリティの高い論文のより多くの投稿を目的として、これまで様々な施策を行ってきました。この数年の間にも、論文の編集に集中し迅速かつ精度の高い査読を進めるためのレターの受付停止、査読日数の短縮に向けた活動、注目度の高いサーベイ論文の積極的な掲載などを実施してきました。

EB編集委員会では、このような施策の一つとして、新たな論文の投稿カテゴリーを開設致します。この新しいカテゴリーは、アイデアにあふれる論文や世界最高性能実現の報告などを積極的に採録・掲載しようというものです。より新しいアイデアを多く集めることにより、多くの方にインパクトを与える論文をより多く掲載することが本カテゴリーの狙いです。これによりEBの魅力を更に高めることを目的としています。このような狙い・目的に基づく新カテゴリー「ポジションペーパー」(Position Paper)の受付を2015年10月1日から開始します。

ポジションペーパーとは、EBがカバーする技術分野（通信基礎、光ファイバ伝送、ネットワークング、アンテナ・伝搬、無線通信など）を対象とする論文のうち、以下に示す特徴のいずれかを持つ論文と定義します。

- ・ 新しいものの見方、考え方、パラダイムなどを導入するもの。
- ・ 従来技術の改良を主体としたものではなく、革新的なアイデアに基づく技術や方式などを提案するもの。
- ・ 現時点では具体的な技術や方式などの提案には至っていないものの、革新的な技術に結び付くアイデアを含むもの。
- ・ システムの試作や実験結果などの報告において、世界最高の数値的性能を実現したものや、これまでに存在しなかった新しい考え方に基づく試作など、特筆すべき特徴を備えたもの。

ポジションペーパーカテゴリーでは、上記の特徴に関して極めて優れた論文のみを採録・掲載します。一方、この条件を満たしていれば、通常の論文には必要とされる、完全かつ網羅的な有効性の評価がされていなくとも、採録します。これを踏まえて、通常の論文標準ページ数（刷り上がり8ページ）よりも短い論文（4ページ程度）の投稿を想定しています。

このような卓越したアイデアの発表を目的とするカテゴリーのために、EB編集委員会では、新しい査読体制を整えました。1編のポジションペーパーの投稿に対して、従来の論文カテゴリーへの投稿よりも多くの人数の編集委員・査読委員が査読を担当します。多くの人数による厳格な査読体制を組むことにより、ポジションペーパーはいわゆるレター格ではなく、論文格（いわゆるフルペーパー格）であると捉えています。

また、ポジションペーパーへの投稿が、投稿者にとってより魅力的でありその結果としてより良い論文が投稿されることを期待して、掲載された論文全てを以下のように扱います。

- ・ LaTeX フォーマット 4 ページ相当分（別刷 50 部）の掲載料を無料とします。
(4 ページ以下の論文なら掲載無料!!)
- ・ Transactions Online で無償公開とします。
(世界中で、会員外でも誰でも読めます!!)

ポジションペーパーの投稿に際しては、投稿のしおり (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。また、EB 本年 1 月号・3 月号において、本カテゴリーのトライアルとして実施したポジションペーパー小特集が発行されています。更に、Part II となる小特集も 12 月発行を目指して現在編集作業が進められています。これらの小特集に掲載された論文も併せて御覧下さい。

会員の皆様からの御投稿をお待ちしています。